

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	1
事業名	男女共同参画事業	会計	款	項	目
		一般	2	1	6
施策	6 語らいのあるまち	課名	町民課		
	6-3 人権を尊重するまちをつくる	係名	町民活動係		
	6-3-2 男女共同参画社会の実現				
主要施策	①男女共同参画に向けての意識づくり		③自立した生き方づくり		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民、町内団体、学校、事業所など	目的 (対象がどのような状態になっているか)	女性と男性が互いに人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会、いわゆる「男女共同参画社会」を実現させる。
事業内容	男女共同参画事務…第3次東員町男女共同参画プランに掲げられた4つの基本目標を推進し、それぞれの目標における2022年までの数値目標の達成を目指す。平成30年度に策定していた男女共同参画条例については平成31年4月に施行することができた。男女共同参画推進委員会でのプランの進捗管理を行いつつ、講座や映画等の啓発活動についても従前どおり実施していく。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	男女共同参画啓発回数	4	5	4	回	→	5
2	審議会などにおける女性委員の比率	29.5	29.6	30.4	%	↑	30	
3	講演会や研修会の開催回数	2	2	1	回	→	1	
4								
5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			2,301		2,298		2,658	
財源内訳	直接事業費 A		255		252		612	
	うち一般財源		(86)		252		437	
人件費 (千円) B			2,046		2,046		2,046	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.31		2046		0.31	
	臨時職員 (人・千円)		0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	啓発のための映画祭や講座がコロナ禍で実施できないので、代替事業として「女性の就職サポート事業」等のオンラインセミナーを共催し、対象者を絞った啓発活動を行う。	③取組の課題	未だに世間では時代錯誤な発言等もあるため、具体的な啓発が必要である。
②R2年度に実施した取り組み	結婚や出産により離職した女性の再就職をサポートする「女性の就職サポート事業」、受け入れる側の企業をサポートする「多様で働きやすい職場づくり支援事業」を三重県産業支援センターとの共催で実施した。	④今後の改善計画	映画祭や講座により幅広く啓発するだけでなく、対象者を絞った啓発も有効であるので、その両側面からアプローチしていく。